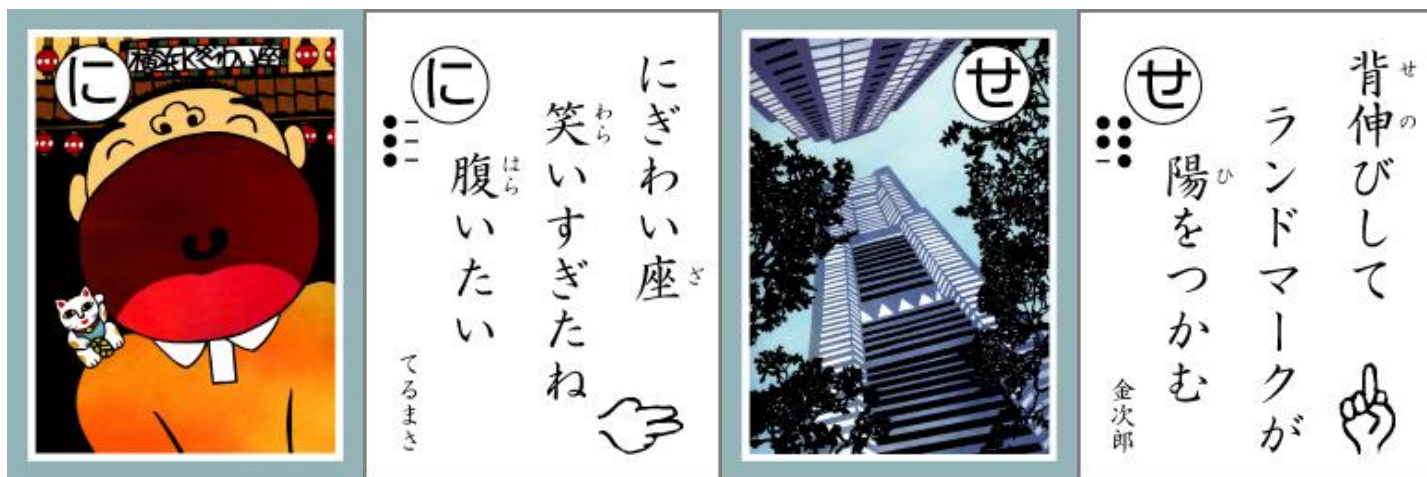


横浜市政記者、横浜ラジオ・テレビ記者 各位

記者発表資料
平成21年7月17日
開港150周年記念障害者スポーツ
文化事業実行委員会
実行委員長 平井 晃
【事務局】
横浜ラポール副館長 原 健太郎
電話 475-2052

開港150周年記念障害者スポーツ文化事業

横浜いろはかるたができました



「障害を超えてつながる 横浜、人と街」巡回展と かるた販売のお知らせ

1 概要

開港150周年記念障害者スポーツ文化事業実行委員会(実行委員長:平井 晃)と障害者スポーツ文化センター横浜ラポール(館長:井上孝夫)は、様々な開港150周年記念事業に取り組んでおり、その一つに「横浜いろはかるた」の作成があります。昨年12月から読み札を募集し、応募作品より45作品を選定して、その読み札をイメージした絵札の制作を行ってきましたが、このたび完成いたしました。

つきましては、その「横浜いろはかるた」の販売を開始し、併せて、きり絵原画(絵札)や障害のある方の書(読み札)の展示などを行う巡回展を開催します。

2 主な経緯

(1) 読み札の募集

- | | |
|-------|------------------------------|
| ア 期間 | 平成20年12月から平成21年2月 |
| イ 内容 | 横浜からイメージされる場所、建物、イベントなどを詠み込む |
| ウ 対象 | 障害者を始め広く一般に公募 |
| エ 応募数 | 628作品 |

- (2) 選定数
45 作品
- (3) 絵札の制作
選定後、きり絵画家 辰己雅章氏に制作依頼

3 辰己雅章氏について

万葉集、日本の昔話、日本の謡、風景、世界の童話、スペインの風景を題材として、多数の個展・グループ展を主催しています。横浜ラポールにおいては、障害のある人に、きり絵を指導しています。横浜市港南区在住。

4 制作部数

3,000 部（内 1,300 部は市内小中学校・障害者施設等に贈呈し、1,700 部を販売）

5 「横濱いろはかるた」の特徴

- (1) 多くの障害者やご家族から、読み札を募集しました。
- (2) 絵札の裏に、かるたで詠まれた題材についての説明文があります。
- (3) 読み札に、第1音の指文字、点字を印刷しており、福祉教育の教材としても役立つよう工夫されています。
- (4) 視覚障害者の希望者には、読み札用点字シールを無料で配付します。

6 「障害を超えてつながる横浜、人と街」横浜市内巡回展

絵札の原画、障害のある方の書(読み札)やきり絵作品等の展示、きり絵体験などを行う巡回展を、市内7会場で開催します。

日 程	会 場
7月19日(日)～21日(火)	横浜新都市ビル(そごう)9階 市民フロア(センター・シビルプラザ)
7月24日(金)～25日(土)	パシフィコ横浜展示ホールB 「YOTEC会場」
8月13日(木)～17日(月)	よこはま動物園ズーラシア ころころロッジ
9月15日(火)～20日(日)	横浜赤レンガ倉庫1号館
9月25日(金)～29日(火)	MM21 グランモール公園1階 クロス・パティオ<緑のギャラリー>
11月18日(水)～23日(月)	横浜ラポール2階 ラポールボックス
11月30日(月)～12月3日(木)	泉区役所

※ 開催時間は、原則として10時から17時です。

7 販売について

- (1) 開始時期 平成21年7月19日(日)
- (2) 価 格 1,000円(税込)
- (3) 販売場所 巡回展会場、横浜ラポール、ふれあいショップ「はあふたいむ(保土ヶ谷スポーツセンター1階)」など